

「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 1 日

事業名称		市営住宅管理費 [市営住宅管理事業]										
予算科目	款	8	土木費	項	4	住宅費	目	1	住宅管理費	事業番号	1	
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	総務管財 課 用地管財 係					課長名		宮田 智雄				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。									施策番号	4 - 2		
【施策名】 良好な住宅環境の形成									総合計画書 (ページ)	85		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	公有財産 →					管理戸数(年度当初)						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	適正に維持管理される。 →					適正に管理された戸数 ⇒使用料収入済額/使用料調定額×100						
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	・使用者の収入申告に基づき市営住宅使用料を算定し、徴収する。 ・空地の除草を行う。 ・必要に応じて住宅の修繕等を行う。 ・使用者が退去し、空家となった市営住宅の解体工事を行う。 ・その他制度改正に伴う条例等の改正、国及び都からの調査への回答等を行う。 →					①使用料調定額 ②除草実施面積(年3回の延べ面積) ③修繕件数						
	単位		過去2年間の実績		当該年度		成果目標					
			平成30年度実績		平成31年度実績		令和2年度実績		令和3年度目標		令和4年度目標	
3 経費	対象指標	①の数値	件	17	17	17						
	成果指標	②の数値	%	100	100	100						
	目 標	②の目標値	%	100	100	100						
	目標値設定の考え方											
	家賃収入のため100%を目標にする。											
4 環境変化等	活動指標	③の数値	①円	712,800	706,800	718,800						
			②㎡	11,642	12,081	13,302						
			③件	5	7	4						
	事業費(実績)		円	3,394,219	3,809,335	4,229,773	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	1,453,921	1,220,845	0						
		特定財源(国・都・他)	円	1,940,298	2,588,490	4,229,773						
		(うち受益者負担)	円	1,940,298	2,588,490	4,229,773						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.5	0.5	0.5						
所要人数(再任用)		人	0.0	0.0	0.0							
職員人件費(再任用以外)		円	4,122,000	4,155,000	4,190,000							
職員人件費(再任用)		円	0	0	0							
事業費+人件費		円	7,516,219	7,964,335	8,419,773							
(1) 開始年度		32 年度以前										
(2) 環境の変化		住宅に困窮する者等に対し、低廉な家賃で住宅を供給するため、市営住宅55戸(木造・戸建て)を昭和32年~34年にかけて建設した。建築後58~60年を経過しており、老朽化が進んでいる。また、空家が出ても新規募集を行わず、建物の解体を行っている。平成29年度末までに空家となった38戸につき取り壊しを行った。										

事業名称	市営住宅管理費 [市営住宅管理事業]			
担当部署・課長名	総務管財	課	用地管財	係 課長名 宮田 智雄

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 市営住宅の老朽化にあたり、市営住宅のあり方について意見があった。（市営住宅のあり方についてパブリックコメントを行ったため）			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ	取組手法：		
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 老朽化が著しいため、修繕料がかさんでいる状況である。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 損傷した箇所のみ修繕を行っている状況である。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 引き続き、老朽化に伴う修繕料が課題である。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 良好な住宅環境の形成 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 市営住宅のあり方について方針が決定したため、その方針に従い進めていく。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	市営住宅を建て替えないことと決定したため、老朽化に対する安全対策や転居支援等検討し調整が必要である。			